

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 28 年 2 月 29 日発行

第 40 号

発行人 校長 鈴木史良

帰国教員の公表と次年度の展望

—— 保護者会総会で新年度の学校体制を発表 ——

2月17日(水)の午後、家庭科/音楽室で第2回の保護者会総会がおこなわれ、その冒頭で校長から平成28年度の学校体制の概要を保護者の皆様にご説明いたしました。派遣教員の異動は帰国2名、新派遣2名となり、派遣教員7名体制は今年度と変わりありません。児童生徒が減少している現状では、派遣教員減となるのもやむなしと覚悟していたのですが、このたび2名の派遣が正式決定し、安堵しているところです。

今年度末で帰国することが決定した教員は教頭を務めた神吉満教諭、小学部中学年担任の上村麻美教諭です。神吉教諭は3年間、上村教諭は4年間にわたり、子どもたちのために誠心誠意努めてまいりました。私たち同僚教師からも本当に頼りになる心強い存

在として、本校の教育を支えてくれました。帰国後は、それぞれ所属する北九州市、大阪市の教員として勤務し、海外で培った経験を生かしてくれるものと期待しています。また、同じく今年度末をもって本校草創期から本校にゆかりのある現地採用教員の津村英子講師が定年退職いたします。本校の草創期からの歴史を知る才能豊かな先生ですが、これからも本校を優しく見守っていただきたいと思っています。

来年度教職員数及び来年度入学者、編入学者数の確定(2月15日現在)に伴い、学級編制を以下のように決定いたしました。

小学部 1・2年生	・・・	1 複式学級 (1年生 2名 2年生 0名)
3・4年生	・・・	1 複式学級 (3年生 1名 4年生 2名)
5・6年生	・・・	1 複式学級 (5年生 1名 6年生 2名)
中学部 1～3年生	・・・	1 複式学級 (1年生 2名 2年生 1名 3年生 2名)
		学級数 計 4 在籍生徒数 計 13名

※ 2学期から小学部1年生、2年生に1名ずつ編入の予定

今年度と同じ学級編制により、教育課程も大きく変わることはありません。3学期制で年間授業日数は今年度より1日増の197日です。授業につきましても、国語、算数などの主要教科は学年ごとのマンツーマンに近い形を継続し、一人ひとりの子どもの力を把握しながら、基礎基本の習得を徹底させます。そしてその子どもに適した体験等から学ぶ指導を増やし、思考力や判断力、表現力を伸ばすことができるような授業を進めてまいります。実技教科はこれまで通り複式学級単位でおこないますが、小学部中・高学年の保健体育につきましては、時数の関係から2学級合同(3～6年生)で実施させていただきます。

また、4月から使用する中学生の教科書が小改訂されます。新しい教育内容に対応するとともに、進路指導態勢を強化し、進路指導計画のもと、進学に伴う情報提供、進路選択のアドバイス、受験対策等に力を入れていきます。

大盛況だったJSマーケット

2月17日(水)～19日(金)に、小学部低学年による生活科の学び「JSマーケット」が開催されました。自分たちがつくったおもちゃで、みんなで楽しくあそぶことに関心をもつことや、遊びのルールを考えて言葉や掲示物でみんなに伝えられるようにすることなどをこの学習のねらいとしました。1、2年生教室は手作りモグラたたき屋さん、ペットボトルを倒すボーリング屋さん、木製玩具のだるま落とし屋さん。学習室はダンボールでつくった迷路屋さん。この階全体がウォークラリー会場と、楽しい遊びの数々に遊びにきた上級生たちも夢中になっていました。廊下に受け付けがあり、ここでウォークラリーの解答用紙と、JSマーケットだけで通用するお金、JSフランをもらって、いろいろな遊びに参加しました。私もだるま落とし屋さんで、2JSフランを払って昔なつかしい遊びをやってみました。すると、だるま落としに成功！払った額の何倍ものお金が戻ってきたので驚きました。これでは子どもたちも喜ぶはずです。この週は、体験入学児童たちも加わり、JSマーケットはたいへんなにぎわいぶりでした。主催者である小学部1、2年生はみんなに楽しんでもらえるよう一生懸命働き、お客さまへの対応も見事でした。いろいろの遊びをつくる準備や片づけ等がたいへんだっ

たと思いますが、それも学習です。多くの学びができたと思います。全校児童生徒が無邪気な心で楽しめ、体験入学生たちも楽しめたJSマーケットでした。



モグラたたき屋さん大繁盛！



大人気だったボーリング屋さん

3月の主要予定

ホームページでの公開はしていません。ご了承ください